

1 学校の重点目標

- (1) 学校における「新しい生活様式」を踏まえた感染防止策の徹底と教育活動の充実
- (2) 人権教育を基盤とした教育活動の推進
 - ・ 自尊感情の育成（出番と心の居場所のある学級・学校づくり）
 - ・ 子どもたちの実態や課題に応じた手立ての充実
 - ・ 職員と児童の信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係の醸成
 - ・ 自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てる道徳教育
- (3) 確かな学力の育成（授業づくりの3ポイント）
 - ・ 子どもが主役となる学び（「思考」を深める・講義型からの脱却）
 - ・ 目標の明確化（問いを生み出す授業）
 - ・ ラスト10分の充実（確かめ・見届け）
 - ・ GIGAスクール構想の推進・充実
- (4) 保健・安全指導の推進
 - ・ 危険を予測し、回避する能力の育成
 - ・ 各種検診・検査・調査等の実施と結果に基づく事後指導

2 課題と改善策（4段階評価 4：とても思う 3：思う 2：あまり思わない 1：思わない）

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学校経営	1 校長の学校経営方針は、保護者や地域にはっきりと伝わっている。	3.6	・ 学校だより、学級通信、学校HPにおいて、ニーズに合わせた情報発信に努める。
	2 めざす子どもの姿に向かって目標を設定し努力している。	3.4	・ 一事徹底事項「行く言葉を美しく」の具現化に向け、言語活動の充実を図る。
	3 思いやりの心を育む教育活動が計画的に位置付けてある。	3.4	・ 人権教育・特別支援教育、道徳教育の実践状況を周知・広報する。
	4 先生と子どもとの好ましい人間関係づくりがなされている。	3.5	・ 子ども一人一人の心情に寄り添い、子ども主体の学校関係づくりに努める。
	5 教育の質の維持、向上をめざした業務改善に取り組んでいる。	3.2	・ 1アクション、1トライを中心に、業務の効率化や取捨選択を進める。
学習指導	6 子どもたちは、楽しそうに生き生きと学習に取り組んでいる。	3.8	・ 授業を中心として、教員の信頼関係が育まれる温かい雰囲気学級の学級経営に努める。
	7 学力向上について、授業における指導法の改善に努めている。	3.4	・ 授業づくりの3ポイントを意識し、主体的・対話的で深い学びの授業を磨く。
	8 家庭学習の定着など家庭との連携が図られている。	3.5	・ 中学校のテスト期間と関連させ、家庭学習強調週間の取組みを進める。
生徒指導	9 いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	3.4	・ 担任等が一人で抱え込まないように、組織的にチームで対応する。
	10 家庭や関係機関等の相談体制がとられている。	3.5	・ 定期的に相談の機会を設けたり、SC来校日を周知したりして、体制を充実させる。
保健指導	11 子どもたちの心身の健康について、一人一人の実態に応じた手立てをとっている。	3.2	・ チャレンジかごしまや、ちょトレを通して、体力向上に努める。
	12 健康について、家庭や医療機関との連携を図っている。	3.8	・ 広報活動や相談体制を充実させることで、家庭との連携を図る。
	13 子どもたちの安全(登下校、自然災害時)について細心の注意をはらっている。	3.4	・ 日常的な安全指導をとおして、児童自ら安全に過ごそうとする態度を養う。
環境衛生	14 学校は常に整理整頓、清掃がなされ、花や緑に囲まれている。	3.3	・ ごみ0、掲示物はがれ0を目指し、整った環境をつくる。
	15 学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検や補修等がなされている。	3.7	・ 安全点検に基づく迅速な校内対応、市教委と連携したと計画的な修繕を行う。

3 次学期に向けての取組

- ・ 各種調査の結果分析に基づいて、確かな学力の定着に向けた指導法改善に努める。教科指導における言語活動の充実に関する実践的研究を進める。
- ・ 子ども一人一人の心身の状況を把握し、校内で適切に情報を共有し、チームで対応する。
- ・ 安全な学校生活を送ることができるように、日常の安全指導と安全点検を丁寧に行う。